



## 2023年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月10日

上場会社名 オプテックスグループ株式会社  
コード番号 6914 URL <https://www.optexgroup.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 達也

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務統括リーダー (氏名) 山脇 秀基

TEL 077-527-9861

四半期報告書提出予定日 2023年5月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	13,822	0.6	1,751	17.4	1,753	27.9	1,182	32.1
2022年12月期第1四半期	13,901	26.7	2,120	59.8	2,431	53.7	1,743	64.8

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 1,534百万円 (34.7%) 2022年12月期第1四半期 2,350百万円 (38.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	33.29	33.05
2022年12月期第1四半期	49.07	48.78

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	63,017	40,648	63.9
2022年12月期	63,302	39,735	62.2

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 40,274百万円 2022年12月期 39,380百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期		18.00		18.00	36.00
2023年12月期					
2023年12月期(予想)		20.00		20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,200	7.2	3,600	0.3	3,650	15.1	2,550	18.3	71.78
通期	60,000	9.5	7,500	19.0	7,600	7.9	5,300	11.5	149.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期1Q	37,735,784 株	2022年12月期	37,735,784 株
期末自己株式数	2023年12月期1Q	2,210,820 株	2022年12月期	2,210,820 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期1Q	35,524,964 株	2022年12月期1Q	35,521,612 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・決算補足説明資料につきましては、決算発表後一週間以内に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「ベンチャースピリット溢れる企業集団を目指す。」を企業理念とし、グループ本社の機能を充実することで、各事業会社の相互連携を強化し、グループ全体での間接コストを抑制して、利益成長を加速させることを経営方針としております。

本年度の重点施策として、成長分野への投資を集中させることによりグループ各社の事業展開スピードを加速させるとともに、調達・製造・製品企画など様々な領域で、グループ各社の事業連携の強化を目指しております。

当第1四半期連結累計期間は、SS事業は堅調に拡大した一方で、IA事業のIPC関連及びMECT関連が伸び悩んだこと等により、売上高は138億22百万円と前年同期に比べ0.6%の減収となりました。利益面につきましても、コロナ禍の行動制限の緩和による営業・販売促進の強化及び為替の影響等により、販売費及び一般管理費が増加したため、営業利益は17億51百万円（前年同期比17.4%減）、経常利益は17億53百万円（前年同期比27.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億82百万円（前年同期比32.1%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① SS事業

SS事業は、売上高61億19百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益は6億94百万円（前年同期比19.0%減）となりました。

防犯関連は、売上高は41億63百万円（前年同期比9.3%増）となりました。海外ではヨーロッパの屋外用センサーの販売が堅調に推移し、前年同期実績を上回りました。一方、国内では部品不足により警備会社向けの販売が伸び悩んだ結果、前年同期実績を若干下回りました。

自動ドア関連は、製品供給体制が評価され国内外共に販売が順調に推移した結果、売上高は14億54百万円（前年同期比18.3%増）となりました。

#### ② IA事業

IA事業は、売上高74億48百万円（前年同期比6.6%減）、営業利益は9億55百万円（前年同期比29.7%減）となりました。

FA関連は、中国で二次電池向けの販売が堅調に推移したものの、国内では半導体、電子部品向けの販売が伸び悩んだ結果、売上高は26億8百万円（前年同期比3.8%減）となりました。

MVL関連は、国内で自動車向けの販売が堅調に推移し、海外では物流向けの販売が順調に推移した結果、売上高は35億1百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

IPC関連は、半導体製造装置向けに部品不足による製品製造遅延により、産業用コンピュータの売上が第2四半期以降にずれ込んだ結果、売上高は11億7百万円（前年同期比15.1%減）となりました。

MECT関連は、二次電池製造装置の受注案件が製造過程にあることから、売上高は2億30百万円（前年同期比57.8%減）となりました。

#### ③ EMS事業

EMS事業における外部顧客への売上高は、生産受託案件が伸び悩んだことにより1億28百万円（前年同期比27.8%減）となりました。一方、営業利益はグループ内製品の製造量が増加したこと等により、2億39百万円（前年同期は2百万円の利益）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は630億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億84百万円減少しました。

流動資産は477億96百万円となり、1億36百万円減少しました。これは主に、原材料及び貯蔵品等の棚卸資産が18億45百万円、その他流動資産が3億19百万円それぞれ増加したものの、現金及び預金が23億64百万円減少したことによるものであります。

固定資産は152億21百万円となり、1億48百万円減少しました。これは主に、投資その他の資産が1億36百万円、償却等により顧客関係資産等の無形固定資産が27百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は223億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億98百万円減少しました。これは主に、未払法人税等の流動負債が7億50百万円減少したことに加え、長期借入金等の固定負債が4億47百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は406億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億13百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が5億43百万円、為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額が3億50百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績見通しについては、2023年2月14日に公表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,287	14,923
受取手形及び売掛金	12,221	12,063
有価証券	327	407
商品及び製品	5,782	6,122
仕掛品	1,952	2,596
原材料及び貯蔵品	8,513	9,375
未収還付法人税等	111	235
その他	1,802	2,122
貸倒引当金	△65	△49
流動資産合計	47,932	47,796
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,488	3,470
機械装置及び運搬具（純額）	394	377
工具、器具及び備品（純額）	830	867
土地	2,512	2,514
建設仮勘定	113	142
使用権資産	281	264
有形固定資産合計	7,621	7,637
無形固定資産		
特許権	278	257
商標権	336	316
顧客関係資産	488	449
のれん	987	1,046
その他	725	718
無形固定資産合計	2,815	2,787
投資その他の資産		
投資有価証券	2,144	2,231
長期貸付金	25	25
繰延税金資産	2,123	1,886
その他	1,069	1,085
貸倒引当金	△430	△432
投資その他の資産合計	4,932	4,796
固定資産合計	15,370	15,221
資産合計	63,302	63,017

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,165	3,481
短期借入金	8,926	8,830
1年内返済予定の長期借入金	708	974
未払金	1,381	1,303
未払法人税等	1,258	487
賞与引当金	1,117	670
その他	2,194	2,253
流動負債合計	18,752	18,002
固定負債		
長期借入金	1,247	794
繰延税金負債	655	643
再評価に係る繰延税金負債	22	22
退職給付に係る負債	1,436	1,467
役員退職慰労引当金	139	113
その他	1,313	1,324
固定負債合計	4,814	4,366
負債合計	23,567	22,368
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,798	2,798
資本剰余金	7,579	7,579
利益剰余金	31,130	31,673
自己株式	△3,588	△3,588
株主資本合計	37,919	38,462
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△102	△53
土地再評価差額金	△5	△5
為替換算調整勘定	1,592	1,889
退職給付に係る調整累計額	△23	△18
その他の包括利益累計額合計	1,461	1,811
新株予約権	341	360
非支配株主持分	13	14
純資産合計	39,735	40,648
負債純資産合計	63,302	63,017

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	13,901	13,822
売上原価	6,832	6,593
売上総利益	7,069	7,229
販売費及び一般管理費	4,949	5,477
営業利益	2,120	1,751
営業外収益		
受取利息	5	18
受取配当金	1	2
投資有価証券売却益	18	—
投資事業組合運用益	—	26
為替差益	222	—
受取賃貸料	5	7
保険戻戻金	30	5
持分法による投資利益	16	17
補助金収入	2	0
その他	24	29
営業外収益合計	327	107
営業外費用		
支払利息	11	15
為替差損	—	81
賃貸費用	2	2
投資事業組合運用損	0	—
その他	1	4
営業外費用合計	16	105
経常利益	2,431	1,753
特別利益		
固定資産売却益	4	4
特別利益合計	4	4
特別損失		
固定資産除売却損	0	1
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益	2,435	1,756
法人税、住民税及び事業税	566	394
法人税等調整額	124	178
法人税等合計	690	573
四半期純利益	1,744	1,183
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,743	1,182



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	1,744	1,183
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	49
為替換算調整勘定	587	297
退職給付に係る調整額	9	4
その他の包括利益合計	606	351
四半期包括利益	2,350	1,534
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,348	1,533
非支配株主に係る四半期包括利益	2	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	SS事業	IA事業	EMS事業	計				
売上高								
防犯関連	3,808	—	—	3,808	—	3,808	—	3,808
自動ドア関連	1,229	—	—	1,229	—	1,229	—	1,229
FA関連	—	2,710	—	2,710	—	2,710	—	2,710
MVL関連	—	3,412	—	3,412	—	3,412	—	3,412
IPC関連	—	1,304	—	1,304	—	1,304	—	1,304
MECT関連	—	546	—	546	—	546	—	546
その他	616	—	177	793	96	890	—	890
顧客との契約から生じる収益	5,654	7,973	177	13,805	96	13,901	—	13,901
外部顧客への売上高	5,654	7,973	177	13,805	96	13,901	—	13,901
セグメント間の内部売上高又は振替高	24	5	2,550	2,581	9	2,590	△2,590	—
計	5,679	7,979	2,727	16,386	106	16,492	△2,590	13,901
セグメント利益又は損失(△)	856	1,358	2	2,217	△26	2,191	△71	2,120

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、ソフトウェア開発及び環境体験学習運営等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△71百万円には、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	SS事業	IA事業	EMS事業	計				
売上高								
防犯関連	4,163	—	—	4,163	—	4,163	—	4,163
自動ドア関連	1,454	—	—	1,454	—	1,454	—	1,454
FA関連	—	2,608	—	2,608	—	2,608	—	2,608
MVL関連	—	3,501	—	3,501	—	3,501	—	3,501
IPC関連	—	1,107	—	1,107	—	1,107	—	1,107
MECT関連	—	230	—	230	—	230	—	230
その他	500	—	128	629	126	755	—	755
顧客との契約か ら生じる収益	6,119	7,448	128	13,695	126	13,822	—	13,822
外部顧客への 売上高	6,119	7,448	128	13,695	126	13,822	—	13,822
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	16	14	3,294	3,326	16	3,342	△3,342	—
計	6,136	7,462	3,422	17,021	143	17,164	△3,342	13,822
セグメント利益又 は損失(△)	694	955	239	1,889	△13	1,875	△124	1,751

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、ソフトウェア開発及び環境体験学習運営等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△124百万円には、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。